

# ふるさととは **今**

## 秋の風物詩～ヨズクハデ

ヨズクハデは、温泉津町の西田地区に伝わる全国でも類例がない農事風習です。

伝説によると神代の昔、神様から魚網を干す方法を教えられたことが始まりとされており、このハデ（稲架け）の形が巨大なフクロウ（ヨズク）が羽を休めてうずくまっているように見えることから、この呼び名が付いたと伝えられています。

銀山柵内（大森町）と温泉津の港を結ぶ街道沿いにあり、山と海の交流を物語る、銀山街道ならではの興味深い伝承です。



### 温泉津町フォトコンテスト作品 「収穫の秋」 江川安夫さん(浜田市)

●編集部からお知らせ  
新生大田市の誕生とともに、「どがなかな 大田市です!!」も創刊号として新たにスタートすることになりました。表紙の写真は、三瓶山(中央)・龍源寺間歩(左上)・やきもの里(右上)・仁摩サンドミュージアム(右下)です。これまでのふるさと情報誌では、大田市内にある小学校(今昔)を順を追って紹介してきましたが、今回は、情報誌の創刊号ということで、小学校の掲載はお休みさせていただきます。次号からは、温泉津、仁摩地区の小学校を含め、掲載していきますのでお楽しみに。

●編集後記  
それは小さくも幼なじみたち手づくりの心温まるコンサートだった。  
旧大田市ふるさと情報誌第9号の「外から」欄で紹介されたピアニスト巨勢典子さんが、8枚目の自作アルバム「ララバイ」を携え、今回で3回目となる地元でのコンサート。爽やかさを基本に、この春から作り上げたとの弁だったが、なまめかしさや重さも感じた。  
取められた一曲に「大切な人」がある。支えられ、支え合うことの大切さを教えてくれたひととき。ララバイ(子守唄)は胎動につながる。小さくも確かな足取りを刻みたい。  
(た)

## イベント情報

- ◆年越しイベント「時の祭典」  
とき 平成17年12月31日(土) 午後9時30分より  
ところ 仁摩サンドミュージアム(仁摩町天河内)
- ◆新春神楽  
とき 平成18年1月3日(火) 午後5時00分より  
ところ 温泉津コミュニティセンター(温泉津町小浜)
- ◆大田市成人式  
とき 平成18年1月4日(水) 午前10時45分より  
ところ 大田市民会館(大田町大田)
- ◆宅野子ども神楽発表会  
とき 平成18年2月11日(土) 午前9時30分より  
ところ 仁摩伝統芸能伝承館(仁摩町宅野)
- ◆御日待祭り  
とき 平成18年2月14日(火) 午後7時30分より  
ところ 巖島神社(温泉津町小浜)